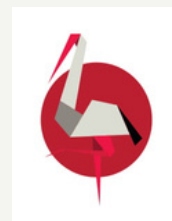


社会福祉法人 福田会 週次報告書

2022年12月27日 / Vol. 033



12月19日(月)～12月25日(日)の支援活動

支援所への支援物資提供

レストランプロジェクト

食材支援

シェルター訪問



ご支援総額

2022年12月23日までの寄付総額 109,385,403 円

寄付金使用総額 2993295.82 zł (約8680万円)

12/19(月)～12/25(日)の期間中の寄附金使用額

22543.8 zł (約65万円)

支援先のシェルターから福田会スタッフをクリスマスパーティーにご招待頂いた。写真はシェルタースタッフと、同シェルターを支援しているボランティア。



活動内容

支援所への支援物資提供

カリタス支援所とPeron4支援所へ、週に1度の支援物資の買い出し支援を実施。

カリタス事務局より、福田会支援者の皆様とボランティアスタッフ宛に、クリスマスギフトと手紙を頂いた。

それぞれに避難民の方の手作りのクリスマスリースが渡され、手紙にはウクライナ避難民支援に対する日本の皆様への感謝が書かれている。



レストランプロジェクト

市内レストラン3店舗と協力し、無料で温かい食事を提供。

参加レストランのBENTOでは、毎日ウクライナのスープを数種類用意し、クーポン利用者のリクエストに応じて、スープを提供している。



食材支援（毎週金曜日）

クリスマス前のため、今週は21日(水)に食材支援を実施。

29家族に1週間分の昼食用食材を提供。

一人あたり50złの予算を設け、合計で4266.11 zł (約128,000円)分の食材を購入。

クリスマスプレゼントとして、購入したチョコレートを福田会ボランティアスタッフへと渡してくれる家族の姿もあった。

年内最後の食材支援は、12月30日(金)に実施予定。





活動内容

シェルター訪問

現在、週に2～3回食事の配達支援を行っているDuchackaシェルターから、福田会スタッフをクリスマスランチにご招待頂いた。同シェルターの支援活動に関わっているボランティア・財団メンバーが招待され、シェルターに滞在する人々と交流した。

クリスマスランチは、福田会が提供している食事と、シェルターに滞在する母親たちが作ったウクライナ料理が並べられた。

写真(右)は、協力レストランオーナーと福田会スタッフ。

福田会提供料理は、キノコスープ・クロケット・カツレツ・マッシュポテト・サラダ2種・ワザンキ(パスタのザワークラウト)・ピザの7種。



同シェルターには、新たに1週間前にウクライナ南部の都市・ザポリージャから避難して来たソフトボールチームの子どもが10名滞在中。年齢は14～18歳で、子ども達だけで避難してきており、ウクライナに戻る目途も立っていないという。

ランチの後には、子どもから大人まで、シェルターに滞在している全ての人に、クリスマスプレゼントが配られた。

明るい雰囲気の中で食べる母国の料理とクリスマスプレゼントに、「久しぶりに楽しい気持ちになれた。」と話す避難民の方の言葉が印象的だった。





現地の動向

ウクライナ正教会は、これまで1月7日にクリスマスを祝っていたが、西側諸国に合わせ、12月25日にクリスマスを祝う事を許可した。

2月の侵攻以降、ウクライナ正教会の信者の中で、ロシア正教会が守っているユリウス暦式のクリスマスからの切り替えを求める声は大きくなるばかりだった。これを受け、ウクライナ正教会は、7000の教区が希望すれば、12月25日に完全な宗教行事を行う事を認めた。

避難民の反応としては、「これまで通り1月7日にクリスマスを祝う。」「自分でどちらか好きな方を祝えば良い。」「今はポーランドにいるから、ポーランドに合わせる。」と、様々な反応が見られたが、冷静に対応している。

(出典：<https://www.politico.eu/article/ukraine-christmas-orthodox-church-celebration-russia-war/>)

